

さんぽっぼ

～第6号～
～景観だより～



田んぼの景観を見つめてみよう！

みなさんは、白いごはんが好きですか？お米は主に田んぼで育ちます。田んぼは季節によって「いろ」が変わっていくことを知っていますか。春はれんげ草の花で「ピンク」、田植えのあとしばらくは「みどり」、秋になり稲穂が実る頃は「黄金色」、そして9月の末には黄金色の中に彼岸花の「赤色」が映え、冬になると田んぼやその脇に菜の花が咲き「黄色」になります。田んぼを見ることで季節の移り変わりがわかるんですよ。また、夏になると田んぼの上を心地よい涼しい風が吹き、エコにとっても役立っているんです。そこで今回は、『稲作の流れ』や『田んぼの景観』を紹介します。みなさんの家の近くや通学路に田んぼがあれば見てください。そろそろ田植えの準備が行われていて、今の田んぼの色は「茶色」ですよ。

『稲作の流れ』

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
ついで	れんげ草	育苗準備	田植え	土用干し	花 出穂	刈り取り	刈り取り

田んぼの水… 少ない 溜めている 出し入れ

豆知識

8月に稲の花が咲きます。その頃に台風がくると、農家の方は花が落ちないかと、とても心配します。(花が落ちると稲が育たないから。)

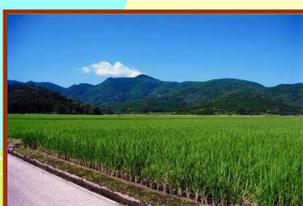
稲は、イネ科の植物で、同じ仲間、サウキピ・トウモロコシ・ススキ・ササなどがあります。

田んぼには、おたまじゃくし・カエル・トンボ・メダカ・ゲンゴロウ・ザリガニ・ドジョウ・タニシなどがいます。

『田んぼの景観』



寄田の棚田(川内)



高江(川内)



陽成(川内)



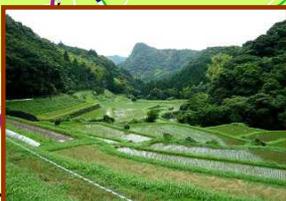
田の神ロード
彼岸花
鳥丸(東郷)



倉野(樋脇)



蘭牟田(祁答院)



内之尾の棚田(入来)



岩下の棚田(入来)

倉野の伝説
むかしむかし、倉野の里人が川内川でおぼれた人を助け、助けられた人はお礼に「よく実るモミのタネ」を与えました。里人が、このタネをまくとみごとにイネが毎年ゆたかに実りました。この助けられた人は、新田神社にまつられている「ニニギノミコト」であったと言われていました。このような言い伝えにより、毎年6月に新田神社で行われるお田植え祭では「倉野奴踊り(くらのやっこおどり)」が奉納されます。